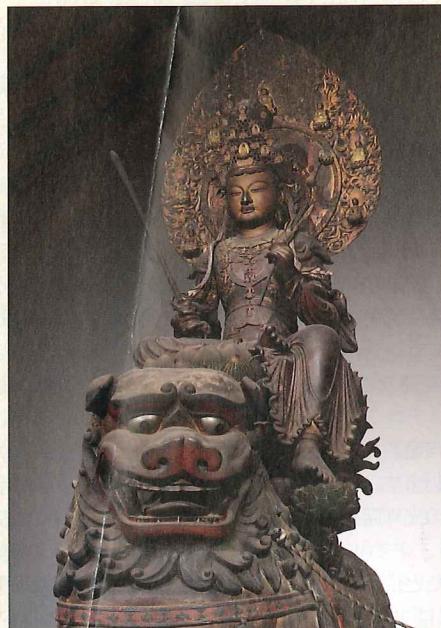


日本三文殊院第一靈場

安倍文殊院

義光



題字 ■ 榊 莫山

御本尊 渡海文殊像

國宝

安倍一族発祥の地 遣唐留学生 安倍仲麻呂公・大陰陽師 安倍晴明公など
国宝・渡海文殊菩薩群像を間近に感じながら手を合わせる
歴史ロマンを眼前で繰り広げる境内

国宝・文殊菩薩を拝む

当山御本尊の文殊さまはお脇四像を含め、全て国宝に指定されています。ご靈前でじっくり拝み心癒やされて下さい。



■ 渡海文殊菩薩群像

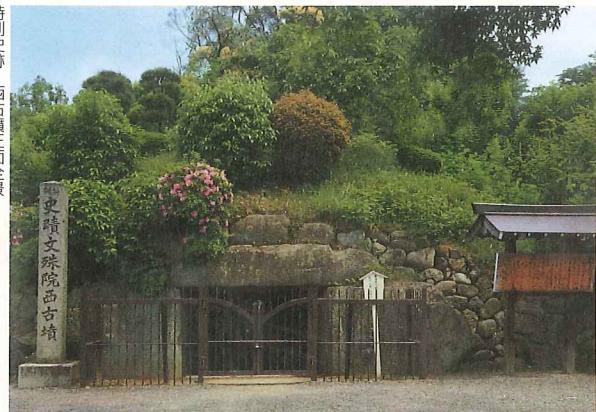
【西暦1203年鎌倉時代・快慶作】後光輝く文殊様に眼前でご対面。今から800余年前の鎌倉時代、大仏師・快慶によって造立された文殊様が平成23年に文化財大修理を終え大改装された本堂で、文化財用LED照明の元公開されています。

- 本尊文殊師利菩薩像、鎌倉時代・国宝・快慶作・木彫極彩色の騎獅像（7メートル・日本最大）で、本尊胎内墨書銘に安阿弥陀仏作即ち快慶作とあり、建仁3年（1203年）に造立された。又、胎内から発見された巻物「造立願文」（国宝）により承久二年四月十二日（1220年）に渡海文殊群像として開眼法要されたことが判明している。
- 本尊右前の善財童子像、鎌倉時代・国宝・快慶作・その童顔をななめ右にふり返らせ無心に合掌しながら、軽快な足さばきで歩む姿の愛すべき童形で、文殊の智を求め得た法悦の状況を十二分に表現され、わが国童形彫刻中の第一位に推されている。
- 本尊の右後の優填王像、鎌倉時代・国宝・快慶作。
- 本尊の左前の須菩提像、鎌倉時代・国宝・快慶作。
- 本尊の左後の維摩居士像、安土桃山時代・国宝・宗印作。
- 台座の獅子、安土桃山時代・国宝。
- 造立願文（一字三礼の書）一巻、鎌倉時代・国宝。
- 大般若経 一巻、奈良時代（天平13年）・重文。
- 釈迦三尊像、室町時代・元多武峯寺本尊・市重文。
- 大日如来像、平安（藤原）時代・元安倍寺の本尊・市重文。
- 地藏菩薩像、江戸時代・白檀の香木作り。
- 弁財天像、室町時代・大和七福神弁財天の本尊。





特別史跡・西古墳正面全景



■白山堂－室町時代－重要文化財

当山の白山堂は加賀の国（石川県）の靈峰「白山」を御神体とする白山神社の末社です。

ご祭神は全ての祖神といわれる白山比口羊（ひめ）大神（しらやまひめのおおかみ）と申し別名を菊理姫神（くくりひめのかみ）とも申されます。

この菊理姫は日本神話において國造りをされた伊弉諾尊（いざなぎのみこと）といざなみのみことの縁を取り持たれた神様です。

「菊理姫」（くくりひめ）の「くく」とは糸をくくり整えるように男女の縁を取り持つ縁結びの神様として厚く信仰されています。

この為現代でも全国から恋愛成就・良縁成就を始め「人間関係における良い縁」を頂くために参拝される方が後を絶ちません。一方、この白山堂が室町時代に当山に建立された由来は、靈峰「白山」が我が国、修驗陰陽道の大靈地として厚く信仰されてきたことにあります。

当山は平安時代の大陰陽師・安倍晴明公が出生された寺院で陰陽道發祥源流の寺です。

この為、晴明公と靈峰白山は古来より深く結びつき信仰されてきました。こうした訳で、靈峰白山の末社が当地に勧請され、爾來縁結びはもとより安倍晴明公に因み、方位災難除け・魔除けの守護を祈願する人も多く訪れます。

■その他の建造物

●文殊院本坊、室町時代・県重文・室町期の雅致ある建築として高く評価されている。

●文殊院本堂、江戸時代・市重文・寛文5年（1665）の再建で、礼堂（能楽舞台）を従えている。

●金閣浮御堂・靈宝館（仲麻呂堂）と晴明堂

文殊池に浮かぶ金閣浮御堂には、当山出生の「安倍仲麻呂公」像と「安倍晴明公」像をはじめ御本尊には開運弁財天、厄除守護神九曜星、方位守護の秘仏十二天御尊軸が安置されている。この御堂は開運厄除災難除けを祈願する人々の道場ともなっている。又、当山には安倍晴明公をまつる晴明堂があったが廃絶した。平成12年、晴明公天文観測の地と伝わる展望台に二百年振りに晴明堂が再建された。

日本三文殊靈場

大和安倍	安倍文殊院
奈良県桜井市安倍山	
丹後切戸	智恩寺
京都府宮津市天橋立文珠小字切戸	
奥州亀岡	大聖寺
山形県東置賜郡高畠町亀岡	

■『特別史跡』文殊院西古墳

『願掛け不動』（平安時代・弘法大師作）安置

我が国の文化財保護法に於いて、貝塚・古墳・都城跡・城跡・旧宅その他の遺跡で我が国にとって歴史上又は学術上価値の高いものを国の「史跡」として指定されています。現在国の指定史跡は1,694件ありますが、その史跡の中でも日本文化の象徴と評価される特に重要なものを「特別史跡」として指定がされています。従って仏像や建築物等の「国宝」に匹敵する貴重な遺産です。この特別史跡は全国でわずか60件しか指定を受けていません。この60件中古墳で指定を受けているのは全国で僅か7件であり、当山の「文殊院西古墳」は極めて貴重な遺産となっております。この古墳は今から1360余年前の西暦645年頃に築造され、古墳内部の石材は築造当時のまま現在まで保存しております。

古墳内部に足を踏み入れると、良質の花崗岩を入念に加工し側壁も弓状として壁面を調整、左右の石の数も揃え対象に仕上げています。殊に玄室の天井石は一枚岩で約15平方メートルもありその巨大さに唖然とするばかりです。しかも天井石の中央部分を薄く削り上げ窮屈隆状とし、天井石の全対面をアーチ型に仕上げている手法は心憎いばかりです。

見事な切り石の様は余りにも美しく、誰もが現代に作ったレプリカかと疑う程で、築造技術における古墳内部の美しさは日本一の定評があり、特別史跡に指定をうける所以です。

この古墳は当山を創建した大化の改新時の左大臣・安倍倉梯麻呂公（西暦649年没）の墓と推定されています。

玄室には弘法大師お手作りと伝う平安時代の「願掛け不動」が古より祀られています。

羨道の長さ8メートル 幅2.3メートル 高さ1.8メートル
玄室の長さ5.1メートル 幅3メートル 高さ2.6メートル

全国で7件の特別史跡指定古墳の中で、奈良県の古墳5件は以下の通りです。

①文殊院西古墳（桜井市） ②石舞台古墳（明日香村） ③高松塚古墳（明日香村） ④キトラ古墳（明日香村） ⑤巣山古墳（広陵町）

●閑伽井（あかい）古墳（智恵の窟）、飛鳥時代・県指定史跡・西古墳より古く、羨道中程に昔から泉が湧き出しており「智恵の水」と呼ばれる。この水を使うと書道が上達し智恵を賜うと伝えられている。

●艸墓（からと）古墳、飛鳥時代・国指定史跡・「くさばか」とも云われ、玄室内には壯麗な家形石棺が安置されている。この墓は「安倍晴明公」の追葬墓と伝わる。